

**No.187**

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

巻頭	31 歳の MAFGA 2023 年度はどんな年になるか！？…… 1	カレンダー	2023 年 4 月の comm cafe ランチカレンダー …… 5
報告	創立 30 周年記念式典を終えて …… 2	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ …… 6
コラム	MAFGA の子ども食堂 …… 4	編集後記	編集後記 …… 8

31 歳の MAFGA 2023 年度はどんな年になるか！？

新しい年度が始まる。協会設立から 31 年目。皆さんは 31 歳のとき、何をしていたらう？ 31 歳の協会はどんな道へと進んでいくのか。そんなことを考えながらの 2023 年度の事業の方向性についてお伝える。

まず、対面での取り組みの再スタートについて。コロナ禍の間、対面で表情を見ながら交流し関係を深める機会はとても少なくなった。マスク着用が個人判断になるなど、コロナ禍が落ち着きつつある中、今年はあらためて交流や関係を深める取り組みを行っていききたい。例えば、ボランティアが集まってコミュニティの課題について語り合う場、カフェを活用した様々な試み、外国にルーツを持つ子どもたちがつながるためのキャンプや遠足など、コミュニティを紡いでいくようなそうした場をもう一度つくっていききたい。

次に、外国籍住民の増加と背景の多様化に対応した取り組みを進める。コロナ禍で海外からの新規入国が大幅に制限された時期が続き、箕面市の外国籍人口も増加がストップしていたが、昨年秋の制限緩和以降、再度増加している。また就労ビザで在住する人たちの割合が増えている状況もある。こうした人たちが協会の事業にアクセスできる場所や曜日、時間のニーズも多様化しており、事業の再編成が必要にもなっている。また、今年度は 2024 年 3 月に萱野と船場に新駅が開業する。交通アクセスの変化なども含め地域が変わろうとしている。市内東部に位置する多文化交流センターは市内他地域からのアクセスの悪さが長年指摘されてきた。

こうした状況に対応して、今年度はまず相談事業をリニューアルする。

生活のいろいろなことを
多言語で相談できます！

<新しい相談体制>

曜日	時間	場所	言語
火曜日	10 時～14 時	多文化交流センター	英語、中国語
水曜日		大阪大学箕面キャンパス 3F	英語、ネパール語、ポルトガル語
土曜日		多文化交流センター	英語、ベトナム語

これまで火曜日に行ってきた「多言語による生活相談」を週 3 日に分けた。労働問題や在留資格の課題について専門家に質問できるように弁護士や行政書士による相談も開催する予定。外国人市民がより相談しやすい環境をつくっていききたい。日本語教室や子どもの学習支援、地域での交流事業などについても、新しい地域のなかでよりよい形をつくっていくためにボランティアや関係者と話し合っていく年としたい。

その上で、地域の多様化するニーズには協会のみでは対応できなくなっている面もある。本来、多文化共生のまちづくりはひとつの団体が担う課題ではなく、地域全体の仕組みや文化として培われるべきものだ。

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会（MAFGA）

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel：072-727-6912 Fax：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp HP：www.mafga.or.jp

賛助会員数：301 名 法人会員数：26 団体（2023 年 3 月 17 現在）

その意味でも地域の様々な団体や機関との連携を広げていきたい。大阪大学箕面キャンパスでの学生・若者が地域とつながる居場所「ひとこま」は今年度も継続しながら、阪大との連携をさらに進めていく。外国人市民の相談対応では、箕面市社会福祉協議会や市の関係機関との連携がますます重要になっている。また、箕面市メイプル文化財団と協働して子ども向けのイベントを開催するなど、地域交流の面でも連携を広げる。

以上、2023 年度の方向性についてお伝えしたが、やはり何より大切なのはボランティア、地域の人たち、そして外国人市民当事者との対話だ。事務局の頭だけで考えると地域や当事者のニーズ、現実と離れてしまうことがよくあること。あらためて「小さな声」に耳を傾け、みんなで対話をしながら作っていくということを意識したい。今年度もよろしくお願いします！（河合）

【報告】創立 30 周年記念式典を終えて

2 月 23 日、箕面市立文化芸能劇場で協会の創立 30 周年記念式典が開催された。天気にも恵まれ、大ホールには 423 名が参加。第 1 部の式典では前田理事長の挨拶のほか、来賓として上島箕面市長の代理として具田副市長、中嶋市議会議員、大阪大学外国語学部の竹村学部長からご祝辞をいただいた。

また、これまでの功労に対する敬意を表して、個人表彰を代表し川井ピヤラットさん、団体表彰を代表しコムカフェの運営を担う「チーム・シカモ」が、また寄付者として辻和彦さんが表彰された。



第 2 部では、まず記念ドキュメンタリー「ちがいが織りなす“私たち”のコミュニティ（45 分）」のお披露目がおこなわれた。協会のごく一部の風景を切り取って組み立てられたものだったが、どのような事業をどんな人が、どんな想いでおこなっているのか、あるいはどんな気持ちで参加していたのかがよく伝わる内容だったと思う。

その後のシンポジウムでは、協会の事業関係者ではなく、「少し離れた」位置にいる 4 名（阪大外国語学部ペルシア語専攻准教授のジャヘドザデ・ベヘナムさん、自らは日本とフィリピンのルーツをもち、外国人の介護従事者の派遣や育成をおこなう会社経営者の高橋太朗さん、今回のドキュメンタリーを手掛けた映像ディレクターでブラジルルーツの田中ニナさん、東京から文化庁国語課の増田麻美子さん）の登壇者と、コメンテーターとして東京外国語大学、多言語多文化共生センター長の小島祥美さんに感想などをうかがった。

1 時間という限られた時間で、「真の共生とは何か」というテーマについては、進行していた私の力不足でほとんど深められなかったことを反省しているが、それでも「映像と、その後のトークで問題意識がよく伝わった」、「何より外国人スタッ

箕面山聖天宮西江寺

役行者により 658 年飛鳥時代に開山。日本最初の歓喜天霊場。
大聖歓喜天は象頭人身のインドの神様ガネーシャが起源とされる。



〒562-0001
大阪府箕面市箕面 2 丁目 5-27
072-721-3190
阪急箕面駅より北へ徒歩約 10 分



写経・阿字観瞑想・
お茶室体験・ヨガ
など開催中



フや外国人市民が、一緒になっていきいきと活動されているのがとても印象的だった」「(外国人である) 私もたくさんの愛とエネルギーをいただき、励まされる思いでした」など、うれしい声を複数いただいた。「映像作品がとても素晴らしかったから、当初は2時間あったというフルバージョンもぜひ観たかった」との声も多数あった。

一方で、改善の余地あり、との意見も多数受け止めている。「外国人市民の参加者は、すべて日本語についていけない人も多かった」、「『ちょっと離れた』人よりも、協会のボランティアや事業へ参加している外国人当事者の人たちの話を聞きたかった」、「オールドカマー(戦前から朝鮮半島や台湾にルーツをもつ人たちとその子孫)にも言及がほしかった」などなど。事務局の至らない点にも沢山コメントいただけることに感謝しつつ、次に活かしていきたい。(岩城)

＜参加しためろん編集ボランティア 荻野さん＞

シンポジウムで文化庁の増田さんは2022年11月の文化審議会資料「地域における日本語教育の在り方について」を示した。時間もなため詳しい説明はなかったが、資料をよく見ると共生施策の柱である日本語教育で新たな動きがある。共生施策の実行は基本的に地方公共団体の役割であるが、上記資料は、先ず市が日本語教育の基本方針を決めるべしとしている。箕面市の国際化指針(2012年)では「施策①相談、コミュニケーション支援」とあるだけであるが、上記資料では例えば「日本語教育参照枠*を踏まえ、B1レベルまでの日本語教育プログラムを編成する」の如きより明確な方針を求めている。我々も今後の日本語教育をどうするか。



一方、働く外国人を支援するビジネスをしている高橋さんからは「これからは働く外国人が増える」という言葉がよく出た。2019年から受入れ始めた特定技能在留資格の外国人数はまだ13万人であるが、22年は8万人増えている。コロナが収まればもっと増えるであろう。今後当協会にとっても働く外国人への支援が大きな課題になるかもしれない。創立30周年を経た当協会。新たな時代に求められる役割は何か。新たな30年が始まった。

(*日本語教育参照枠はヨーロッパ言語共通参照枠を参考にして文化審議会が作った新しい日本語教育プログラム(2021年10月)。日本語教育に関わる全ての人が共通に参照できる日本語学習、教育、評価のための枠組みで、海外もふくめ、どこでも、この枠組みを参照することで同じ基準で学習、教育、評価が可能になる)

＜参加しためろん編集ボランティア 山下さん＞

時間が足りない、と率直に思った。シンポジウムではもう少し話を聞きたかったが、あっという間の幕切れだった。それでも、開会から閉会まで、登壇された方々の言葉も熱く伝わりながら滞りなく式が進んだのは、職員・スタッフの準備や配慮の賜物だろう。国籍問わず、一人ひとりの葛藤や他者との関わりが重なりあって、協会の30年の歩みになったのだと実感した。微力ながら、今後も力を尽くしたいと心を新たにした。

「わかる」だけでは物足りない! 「わかった」だけでは成績は上がらない! 「できる」ように数林は教えます!

学校レベル別個別指導のびっくろ効果! 見逃さないで!!

中1~高1 成績を上げる! 在籍校別個別指導 1:2
週1回の通塾でOK! (80分×2コマ)
学校の少し先を先取り学習します。
質問取りではない、丁寧な講義と演習みっちり!!

高2・高3 大学受験対策個別指導 1:2
志望大学を攻略する数学力をつける 一人ひとりにあわせて
内容で、志望大学合格レベルに数学力を引き上げます。
基礎復習から共通テスト対策も万全 実践力を鍛え上げ
共通テスト200点獲得へ最短距離で導きます。

学校教材を
使って
もらうから
わかりやすい!

受験よろず相談承ります!!

成績や進路のお悩み、成績を上げる学習ポイントなど、塾長がオンラインで御相談に応じます。(事前予約制・無料)

受験数学専門塾

数林



豊中市本町1丁目2-53 高山第3ビル5F
TEL 06-6852-1925
<https://www.suurin.com>
mail@suurin.com

MAFGA の子ども食堂 取材日：2022.12.10

協会では毎週土曜日、午前は学習支援「さぼると」に、午後からは居場所事業「こどももっと」に外国にルーツを持つ子どもたちが通う。コロナ禍の中でも何か気持ちが通い合う場が作れないかと、comm cafe シェフのアイリンさんの声かけで企画されたのが「多文化子ども食堂」。資金は昨年度、クラウドファンディングで調達した。

実際に訪れたところ、協会の「子ども食堂」は私が思い描いていた一般の「子ども食堂」とは少し違うように感じた。参加しているのは、日本に来て間もないため、日本語がなかなか話せない子や、日本語に不自由はないものの居場所を求めて来ている子など様々である。子どもたちにも今の社会は生きづらいとよく言われる。コロナで長い間でできなかったが、そのような子どもたちの居場所づくりとして成功しているように思えた。子どもだけではなく、その保護者やボランティアの大学生たちも多く集まっている。今日のシェフはコムカフェシェフの山口さん。メニューは「唐揚げ、野菜炒め、玉子スープ」、どれも食欲をそそる。子どもたちに聞いてみた。「ゼーんぶ、おいしかった!」「野菜もおいしくて食べたよ!」シェフは「野菜を全部食べてもらえるよう工夫をしました。八角を使うと野菜の臭みが消えますから」。食後は山口さんの自己紹介とじゃんけんゲーム。中国語は四声があるから難しいが、じゃんけんはすぐ覚えて楽しんでた。6月に中国から家族で来日した方に話を聞いた。にほんご教室にも何か所か通うけれど会話が難しいと言う。この日はホッとできる場だったようである。子ども食堂とは言いながら、大人にも居場所を提供している場だと感じた。



「子ども食堂」は各地で開かれている。どの団体も経済面から厳しい状況にあると言う。1月14日(土)メイプルホールで開催された「地域共生社会シンポジウム(箕面市社協主催)」にも参加した。この中でも、箕面市にも経済的な支援が必要な子どもがたくさんいる。その子どもたちに食の立場から支援をしたい、居場所を作りたいと始められた経緯が語られていた。これにはまた問題もあり、困っている子どもたちの行く場と言う目で見られてはいけな、誰もが集う場にしないといけなという事に気づき、今では「家で、一人で食事をする個食の解消や豊かな食材による食育」のみならず、地域交流の場づくりを目的にする団体が多くなった。「今宮子ども食堂」「豊川南小地区福祉会」「高齢者ディサービス×学習支援のNPO」など3組の団体による発表にもその強い思いが込められていた。

協会の「こども食堂」は6回で終了したが、シェフたちからは、ニーズがあれば続けていきたいとの声も上がっていると言う。外国にルーツを持つ子どもたちと地域の子どもたちが一緒に集う機会は少ないが、comm cafe がその橋渡しの場になればと思う。(井嶋)



胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科



おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30 分前から受付します。

■胃カメラは予約制です。

■休診日：火・土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日

■http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/

【住所】562-0023

箕面市栗生間谷西3丁目7-9 シャトー野間1F

阪急バス停留所「宮の前」スーパーマルヤス向い

◎無料駐車場 有

TEL **072-730-0721**



**エスパーロ
能勢**

espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間：金～月 11:00 ~ 17:00

<http://espero-osaka.com/>

箕面市国際交流協会の
多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912
(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時：火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法：来館、メール、電話

対応言語：日本語、韓国・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所：箕面市立多文化交流センター

4月
April

comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

火・木～土

9:30 - 11:30 朝カフェ
11:30 - 14:00 ランチ ￥950

* 売り切れ次第終了します

14:00 - 17:00 午後カフェ

日・祝日 * ランチはありません

10:00 - 13:00 世界の朝ごはん ￥770 (ドリンク付)

おしらせ

【スナック&ドリンクメニュー 価格改定のお知らせ】

これまで価格維持のための努力を続けてきましたが、
原材料の価格の高騰が収まらず、
2月から一部のメニューの価格を変更しています。
皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、
ご理解のほどよろしくお願いいたします。

【おもな価格改定の内容 (税込)】

- ・ランチセット (単品): 410 円 ⇒ 560 円
- ・スパゲティやカレーなどの軽食: 660 円 ⇒ 770 円
- ・コーヒー、紅茶、100%ジュース類: 300 円 ⇒ 350 円

※ゆず茶やマンゴーラッシーなどは、1月から 50 円程度値上げしております。

ス… スナック & スウィーツの日 イ… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
5月13日はコムカフェオープン10周年イベントを予定。 お楽しみに！					1 ティーさん 《ベトナム》	2 ス MAFGA スナック
3 休館日	4 ス MAFGA スナック	5 店休日	6 ルーパさん 《インド》	7 ス MAFGA スナック	8 ティーさん 《ベトナム》	9 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ~ 13:00
10 休館日	11 ホーさん 《香港》	12 店休日	13 フランクリンさん 《キューバ》	14 山口さん 《中国》	15 トゥエットさん 《ベトナム》	16 ス MAFGA スナック
17 休館日	18 ノックさん 《タイ》	19 店休日	20 フランクリンさん 《キューバ》	21 ス MAFGA スナック	22 ホーさん 《香港》	23 世界の朝ごはん 《ベトナム》 10:00 ~ 13:00
24 休館日	25 ジェニーさん 《シリア & アルメニア》	26 店休日	27 ノックさん 《タイ》	28 洪さん 《コリア》	29 [祝] 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ~ 13:00	30 協会主催事業のため カフェはお休みです。 イ 9:00 ~ 17:00 フォーラムシアター

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。https://www.facebook.com/mafchallengecafe



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで ※開催場所: 箕面市立多文化交流センター

☎: **072-727-6912** FAX: **072-727-6920** ✉: **info@mafga.or.jp**

イベント情報

最新情報は協会 HP を確認ください。www.mafga.or.jp

読書会

4/16(日)
14:00-

Sunday Book Review

参加者の方と共に、ゆっくりと英語の原著を読みます。課題本は、チャーリーのチョコレート工場『Charlie and the Chocolate Factory』

対象 : どなたでも
定員 : 10 名程度
場所 : 会議室
参加費 : 300 円 + ドリンク代



ワークショップ

4/19(水)
13:30 ~ 15:00

メキシコ刺繍を通してつながる～ Bordando en Handai

メキシコ先住民の刺繍について学びながらの刺繍体験。
◎ロクサナ・ロベス / 浜内怜子 *今後、月一程度で開催予定

対象 : どなたでも
定員 : 10 名程度
場所 : 阪大箕面キャンパス 3F
参加費 : 無料

ワークショップ

4/30(日)
① 9:30-12:30
② 13:30-16:30

フォーラム・シアター 2023

演劇型ワークショップの中で生み出される対話から問題解決を探るプログラム。 ◎内山唯日 (多様性教育ファシリテーター・日本語講師)
① 寸劇の台本作り ② 寸劇披露・鑑賞、意見交換と実践

定員 : ① 5 名 ② 10 名 (要申込)
場所 : comm cafe
参加費 : 賛助会員・学生 無料
それ以外 3,000 円
*詳しくは協会 HP を参照



屋台イベント

5/13(土)
11:00-15:00

コムカフェ 10 周年 & センター開館 10 周年

オープン 10 周年を記念して! comm cafe シェフから感謝を込めて、手ごろな価格で世界のスナックが並びます。その他楽しいイベントも準備中。詳細は次号で。

対象 : どなたでも
場所 : comm cafe



2023 年度の賛助会員募集中

賛助会員となって、箕面市国際交流協会を支えてください。

- ① 税額控除が受けられる個人寄付会員 (3,000 円) と、法人会員 (10,000 円) があります。
- ② インターネット上からクレジットカード決済での入会手続きが可能です。

春の多文化ボランティアセミナー

5/20

(土)

14:00-16:00

協会の取り組み紹介とオリエンテーション

14:00-16:00

『ちがいが織りなす"私たち"のコミュニティ』上映 (45 分)

小グループでの感想交流会

ボランティア活動オリエンテーションと質疑

定員 : 40 名 (要申込)

場所 : 講座室

参加費 : 550 円 / 日

賛助会員・学生 : 無料

保育 : あり (3 名・要申込)

5/27

(土)

14:00-17:00

多文化まちづくり交流会

14:00-16:00 箕面市における地域国際化の現状と課題 (事務局)

◎グループでの交流

16:00-17:00 ボランティア活動説明

◎協会で活動するボランティア団体

唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で 40 年の歴史～

*バレエコース : 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書 (Dipolma) や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3 才～ 80 才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース : 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者 (姿勢科学士) が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より 30M)

072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



(公社) 日本バレエ協会会員・AODT 会員



定例事業のスケジュール

場所の記載がないものは、
センターにて開催

	事業名	2023 年度開始日	内容など
日本語教室	ささゆり (初級読み書き)	4 月 11 日 (火)	一時保育あり (1 才～就学前) 定員 5 名 (申込多数の場合は抽選)
	あかね (初級会話)	4 月 13 日 (木)	
	せいなんにほんご	4 月 19 日 (水)	西南生涯学習センター
	ひまわり	4 月 14 日 (金)	子ども連れでの参加可能
	萱野にほんご	4 月 14 日 (金)	らいとぴあ 21
	ひがしにほんご	4 月 9 日 (日)	東生涯学習センター
	T.E.S. にほんご	4 月 1 日 (土)	
多言語相談	英語・中国語	4 月 11 日 (火)	
	英語・ネパール語・ポルトガル語	4 月 12 日 (水)	大阪大学箕面キャンパス 3F
	英語・ベトナム語	4 月 15 日 (土)	
外国にルーツを持つ 子どものサポート 事業	さぼると	4 月 8 日 (土)	学習支援：日本の学校に通う 渡日の子ども (小学生～高校生)
	こどももっと	4 月 8 日 (土)	居場所づくり：外国にルーツを持つ 子どもならだれでも (小学生～高校生)

他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。

ワークショップ

4/2 (日)
14:00-15:00

春休み 筆あそび workshop

多文化交流センターで書道教室をひらく「さくら書き方教室みのお」によるワークショップ型イベント。久しぶりに書道を始めてみようかと思っている大人の方、子どもさんのお稽古を検討されている保護者の方も。道具、材料は教室が用意。持ち物：作品持帰り用カバン 服装：汚れてもよいもの

場所：多文化交流センター 会議室
料金：子ども (園児・小学生) 1,100 円
大人 (中学生以上) 1,400 円
定員：子ども 5 名 大人 5 名
主催・問合せ：さくら書き方教室みのお
sakurakakikata@gmail.com

スポーツ

4/12 (水)
11:30-13:00

ランチタイム！阪大でポッチャしよう

パラリンピックでも話題になった 誰もが楽しめるヨーロッパ生まれのスポーツ、ポッチャをランチタイムに体験しませんか。＊今後、月一程度で開催予定
主催 / 問い合わせ: MAFGA (学生・若者と地域がつながる居場所「ひとこま」企画)

場所：大阪大学箕面キャンパス 3F ビロティ
料金：無料
協力：大阪大学外国語学部 / 箕面東コミュニティスポーツ (コミスポ)

セミナー

4/15 (土)
14:00-16:00

地域を学び、地域をつくる～「聞き取り」のひろがり～

誰もが持つ自分の歴史を振り返り、語り継ぐということは結果的に自分自身や地域を豊かにすることに繋がる。現代史を専門とする講師から、地域を学び地域を作ることの意義について学ぶ。

◎安岡 健一 (大阪大学大学院人文学研究科准教授)

場所：人権平和センター 豊中
(豊中市岡町北 3-13-7)
定員：40 名 (先着順)
料金：無料
主催：とよなか人権文化まちづくり協会
06-6841-5300 bwz37306@nifty.com

演劇

4/16 (日)
14:00-16:00

宮村信吾一人芝居 あの少女の隣に

まちの抛り所～Yosuga～で、毎月第三日曜日に「あの少女の隣に」「市長公室の木村さんが」が交互に上演されているくるみざわしん作・演出作品。
各回ともアフタートークあり。4/16 は元大阪市木川南小学校校長の久保敬さん
＊13:30～開場

場所：まちの抛り所～Yosuga～
(大阪市生野区勝山北 5-7-11)
チケット：2,500 円 (要予約)
問合せ・申込み：ひとことつむぐ HP
https://hitokototumugu-yosuga.com/

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか？



ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう！
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、
デザイン等を修得
昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー
昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします！ ◆パターンや立体裁断も教えます。 ◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください！

●問合せ：〒562-0012 箕面市白島2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

めろん編集ボランティアスタッフ 募集中！

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください！！編集会議の日程などについては、協会までお問合せください。

めろんへのご意見・ご感想をお寄せください。

いつも「めろん」をお読みいただきありがとうございます。「このテーマをもっと掘り下げてほしい！」「前回の掲載されていた記事面白かったよ」「めろんで取材にきませんか？」などなど、読者のみなさまからのご意見・ご感想を大募集中！
info@mafga.or.jp まで、お寄せください。

編 集 後 記

ある小さな国で「何か日本の歌を歌ってくれませんか」といわれ、さて困ってしまいました。その場の状況からは古い伝統的な日本の歌を聴きたがっているようでした。困ったあげくとっさに手遊び入りのわらべ歌を歌ったら喜んでもらえました。皆さんならどうしますか？

日本では明治政府が音楽教育の徹底的な西欧化を行い、民謡やわらべ歌は教育現場からは排除されました。今、日本の古い歌、とされているのは明治時代に作曲家が政府から命じられ作られた歌が多いです。もちろんよい歌もたくさんできましたし、明治、大正、昭和生まれの人にとってはとてもなつかしいものです。でもそれ以前の歌はどこに行ってしまったのでしょうか。わらべ歌や民謡は細々とは生き残っていますし、芸能の音楽（謡曲、長唄など）は小さな世界ですが生き残ってはいます。ですが、みんなで共有できるような古い歌がありません。欧州のある先端的ロックバンドがインタビューで「何かお国の歌を」とリクエストされたときに、全員で非常に古い歌を楽しそうにうたい、「おじいさんおばあさんがよく歌っていたよ」とコメントしていました。とてもうらやましいと思いました。

多くの人が歌い踊る沖縄を除けば、日本でそのような歌を取り戻すことはもう不可能でしょうが、せめてどの世代の人も口ずさめる、場合によっては肩を組んで歌えるような曲があれば、と思います。今年はラグビーW杯があります。国によってはラグビー応援歌（アンセム）を持っているところがあります。例えばアイルランドはアイリッシュのリズム丸出しの応援歌をみんなで歌います。うらやましい。（鷲尾）

アクセスマップ



オレンジゆずるバス

- （平日・土曜）黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
 - （日曜・祝日）緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約200m
- ※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出 発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 55, 56 58, 59, 66	① 小野原
		② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR茨木方面から	92	① 小野原 ② 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋真佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷲尾則昭

【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ：（公財）箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター

Tel：072-727-6912 Fax：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp

HP：www.mafga.or.jp FB：facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル：http://portal.mafga.or.jp/